

新型コロナウイルス感染症患者の発生に係る
市長臨時記者会見

昨日、保健所の検査により新型コロナウイルス感染者が4名確認されました。市内では、156例目から159例目、県内では353例目から356例目となります。

この度判明した4名の感染者は、4月13日に陽性が確認された市内152例目（30歳代男性）の同じ施設での接触者であることから、いわゆるクラスターに該当するものと捉えております。施設名については、市民に不安を与えないこと、および感染拡大防止の観点から、施設の同意を得た上で公表することといたしました。

その施設であります、「介護老人保健施設 千秋苑」であります。

介護施設でのクラスターは、市内はもとより県内で初めての事例であります。5名の内訳は、3名が入所者、2名が職員であり、全ての入所者および職員の検査を実施したところ、5名の感染者以外は陰性を確認しております。

本市では、3月中旬以降、感染者数が増加傾向となっており、4月に入ってから、既に31件目を数えております。また、3月19日から変異株のスクリーニング検査を実施しておりますが、4月1日以降は、変異株の割合が急速に増えてきているとともに、感染経路が不明な事案が多くなってきており、大きな危機感を感じております。

こうした状況を踏まえ、重症化リスクが高い、市内約140の高齢者施設に4月13日付けで、感染対策の再点検を求める文書を発出したところであります。また、本日、秋田市危機管理対策本部会議を開催し、職員に対しても、緊張感を持って感染対策を講じるとともに、所管施設をはじめ、小中学校や保育施設などに対し、感染対策を改めて徹底する文書の発出を指示したところであります。

市民の皆様におかれましては、感染しやすく重症化しやすいと言われている変異ウイルスの発生に対して、これまで以上に危機感をお持ちいただき、「マスクの着用」、「手洗い」、「3密を避ける」など、基本的な感染対策を今一度徹底し、感染リスクを減らす行動を家庭や職場でも確実に実践していただくよう、お願いをいたします。